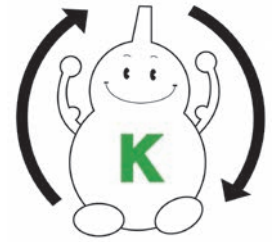


ごみジャーナル

No.51

発行/ごみ問題を考える草津市民会議

編集/広報委員会




クルリーナちゃん
(ごみ問題のキャラクター)



ごみ分別の紹介

分別は正しくしましょう



分別のポイント!

- お菓子やティッシュペーパーの箱は 雑紙へ
- プラマークがついているものは プラスチック製容器類へ
- ペットボトルはキャップとラベルを 分別すること



ごみ問題を考えるパネル展示



食品ロス削減

食べられるのに捨てられてしまう食品を「食品ロス」といいます。食べ物を捨てることはもったいなく、環境にも悪い影響を与えてしまいますので、食品ロスをなくしましょう



ごみ問題クイズ

大人も子どもも楽しく学ぼう



**牛乳パック
ヨーヨー**
みんなでエコな
おもちゃを
作って遊んでみよう

ごみ問題を考えるパネル展示について

令和3年9月3日(金)、4日(土)にキラリエ草津において開催を予定していましたが「リサイクルフェア草津2021」は、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点からイベント開催を中止しました。体験等を通して楽しみながらリサイクルについて学んでいただくことができるイベントが開催できず、大変残念です。そこで本会として何ができるか、何をしたらよいか考え、イベント開催の代わりとして、令和3年10月4日(月)から10月29日(金)に、草津市役所本庁舎1階ロビーにおいて、パネル展示を行いました。ごみの分別紹介コーナーでは、焼却ごみに分別されやすい「雑紙(お菓子やティッシュペーパーの箱)」などについて実物を展示しながら、リサイクルできるように正しい分別について呼びかけました。また、食品ロスの削減啓発やマイクロプラスチック等の紹介、クイズコーナー等を設置しました。市役所に来庁されたお客様にごみ問題やリサイクルについて考えていただける機会が提供できたのではないかと思います。

令和3年度 ごみ問題を考える草津市民会議顕彰

令和3年度は山田学区の「五条町内ゴミ拾いボランティアグループ様」と「藤森一明様」、「後長正信様」を顕彰させていただきました。

「五条町内ゴミ拾いボランティアグループ」の方々は、町内および外周の道路の清掃活動を平成15年から継続してこられました。毎月欠かさずポイ捨てごみを収集され、地域の環境美化に貢献されてきました。

また、「藤森様」と「後長様」は率先して南山田団地町内会の資源回収活動をされ、ごみ集積所の維持管理や児童公園の美化活動にも熱心に取り組んでいただきました。おふたりとも10年以上活動され、ごみの資源化や環境美化へ大いに寄与されてきました。



ポイ捨て防止市民行動の日の啓発



令和3年5月30日(日)11時半からエイスクエアにて、6か所に分かれ、ごみ問題を考える草津市民会議のメンバーや、事業所、行政機関が連携をして、啓発物品の配布を通して、ポイ捨て防止市民行動の日の啓発を行いました。本会から30名が参加し1,500名以上の方に啓発をすることができました。



生ごみ減量の取組



前回、ごみジャーナル50号にて「生ごみ減量の取組」について、「食品ロスを減らそう!!」の記事を載せました。読んでいただけただけでしょうか？

先日新聞に、東京五輪スタッフ向けのお弁当が大量に捨てられ「食品ロス」が多く発生したという投稿記事がありました。何か打つ手はなかったのか、悔しい思いです。

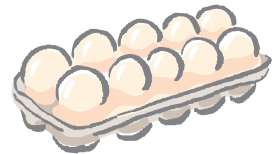
みなさんのご家庭では日頃から様々な工夫をされているものと思います。

そこで「生ごみ減量の取組」の一助として、食品ロス削減、フードエコにつながるポイント、食材保存のコツを数回に分けて連載します。取組の参考にさせていただきたいと思います。

(出典：滋賀県買い物ごみ・食品ロス削減推進協議会事務局 食品ロス削減アイデア集)

卵の保存のコツ

- **買い物から帰ったらすぐに冷蔵庫に保存しましょう。**
冷蔵庫では卵のとがった方を下にして保存しましょう。
- **冷蔵庫から頻繁に出し入れするのはやめましょう。**
卵の温度が変化したり、水滴が付いたりすると傷みやすくなります。
- **古いものから順に食べるようにしましょう。**
- **卵にひびが入ってしまった場合、すぐに気がついたときは十分過熱してから食べるようにしましょう。**
しばらく保存してからひびに気がついたときは食べるのをやめましょう。



段ボールコンポスト堆肥で“夏野菜に挑戦”

今年の夏野菜の栽培は暑さや雨の影響でうまくできた人や、うまくいかなかった人がおられたと思います。段ボールコンポスト部会員はうまくできたようで、今回は自宅のプランターや大きな植木鉢などで収穫ができました。水やりやコンポスト堆肥の追肥をして、トマト・ナスは添え木を使い、キュウリやゴーヤーはネットを利用して大きく育ちました。また、ゴーヤーはグリーンカーテンにしたことで部屋が涼しくなり、その上、実がなり、料理にも使用できました。



ナス



キュウリ



トマト

**段ボールコンポスト
基材セット販売中!**

1セット……**500円**

詳しい内容はQRコードより市ホームページにてご確認いただけます。



令和3年9月3日、草津市と一般廃棄物収集運搬委託事業者が災害時等の相互連携協定を締結しました。

令和3年9月3日、草津市では災害および感染症等の発生時における一般廃棄物の収集運搬業務等に関する相互連携協定を締結しました。

協定の概要

災害時および感染症発生時、市内の一般廃棄物収集運搬の業務継続が困難となった場合^(※)において、委託業者間で相互に協力し合うことで業務継続を図るものです。

(※) ●事業所が被災し、収集車両が使用できない場合
●事業所内でクラスターが発生し、作業人員が確保できない場合 など

協定相手方

大五産業株式会社
有限会社滋賀環境センター
草津環境管理サービス企業組合
滋賀県環境整備事業協同組合

令和3年10月1日からクリーンセンターへのごみの持込は事前申請が必要になりました。

平成30年3月の新クリーンセンター供用開始以降、ごみの持込みが増加傾向であり、それに伴い、長い待ち時間も発生しておりました。この問題を解消するため、クリーンセンターへのごみの持込に事前申請が必要となりました。ごみの持込を予定されている方は事前に申請をお願いいたします。

予約方法

申請方法はインターネットまたは電話でのみ可能です。
インターネットURL：<https://s-kantan.com/kankyo-kusatsu-u/>
電話：**077-516-4030**（土・日・祝日を除く平日8:30～17:15）



予約期間

持込予定日の30日前から受付します。インターネットによる場合は平日3営業日前まで、電話による場合は平日2営業日前までに申請をしてください。
（営業日は土・日・祝日を除きます）

予約に関する注意事項

- 1日の受付件数には限りがあります。
- 1日に1家族1回限りとします。
- 持込できるごみは草津市内のご家庭から出たごみまたは草津市内で発生した事業系一般廃棄物に限ります。

その他の注意事項についてはホームページまたは資源循環推進課までご確認ください。

草津市役所環境経済部資源循環推進課 TEL：077-562-6361

エコ宣言

いま、取り組んでいることや、これから取り組みたいことにチェック☑を入れて、ごみ削減に取り組みましょう。

- | | |
|---|---|
| <input type="checkbox"/> 買い物にはマイバッグを持参する。 | <input type="checkbox"/> ものを大切に使う。 |
| <input type="checkbox"/> 買い物では、必要なものを必要な分だけ買う。 | <input type="checkbox"/> 壊れても、直せるもの（修理できるもの）は、直して使う。 |
| <input type="checkbox"/> 使い捨ての製品ではなく、できるだけ繰り返し使える製品を選ぶ。 | <input type="checkbox"/> 使わないものは、誰かに譲って使ってもらおう。 |
| <input type="checkbox"/> ごみの分別を徹底する。 | <input type="checkbox"/> リサイクルショップ、フリーマーケット、フリーマアプリなどを活用する。 |
| <input type="checkbox"/> プラスチック類、ストローの使用は控える。 | |
| <input type="checkbox"/> 食事は残さず食べる。 | |

3R全国ネットプラスチック削減オンライン連続セミナーIでの『持続可能な社会とプラスチックフリー』を聞いて

東京農工大学の高田秀重教授のセミナーを受講しました。高田教授は、マイクロプラスチックの第一人者で、国連の海洋専門家会議メンバー等を務められています。セミナーでは次のように言っておられました。

プラスチックは約50年前から金属や陶器・ガラスの代替として、安易に置き換えられ利用されてきました。その結果、今や海へ50兆個のマイクロプラスチックが漂流する現実となっています。また、関連してマイクロプラスチックは、食物連鎖を通して、汚染は生態系全体に広がっています。

さらに、プラスチックは、ホルモンの作用を攪乱し、甲状腺機能、脳神経等に関する異常や、免疫力の低下、アレルギー、肥満等も引き起こします。最近の調査では、ペットボトルのキャップや、プラスチックごみから浸みだしてきた水には高濃度の環境ホルモンが検出されているとも言われています。何も手を打たなければ、海に流入するプラスチックの量は20年後には10倍に増加するとも言われています。

皆が当事者の意識を持つ事が急務で、特に使い捨てのプラスチックの使用を極力避け、不要なプラスチックの受け取りを断ることで、プラスチックごみを減らすことが大切だと感じました。

No single-use plastic! 「使い捨てプラスチックを使わない！」

3R全国ネットプラスチック削減オンライン連続セミナーIIでの『海洋プラスチック汚染に立ち向かうために』を聞いて

大阪商業大学の原田禎夫准教授のセミナーを受講しました。原田准教授は、日本初の「亀岡市プラスチック製レジ袋の提供禁止条例」の制定にアドバイザーとして尽力され、また、NP法人プロジェクト保津川代表理事として環境保全や川の歴史・文化の伝承活動に取り組まれている方です。



ここで『亀岡市プラスチック製レジ袋の提供禁止に関する条例』の一部を紹介します。

<プラスチックは、その優れた汎用性、実用性から私たちの生活に密着し、私たちもまた、プラスチックの利便性に依存してきた。その結果として、多くの使い捨てプラスチックが私たちの暮らす環境を汚染する一因となり、海洋プラスチック汚染という地球規模の環境汚染へとつながっている。>

この条例により、亀岡市では、令和3年1月1日からプラスチック製レジ袋の提供が有償無償を問わず禁止されています。国では、昨年7月から法律によりレジ袋有料化を義務付けましたが、本条例はそれより一歩踏み込んだ、全国で初めてのプラスチック製レジ袋配布の禁止規定となっています。

セミナーの中で、原田准教授は「海へと流れ込むプラスチックごみのほとんどは、川を通じて流れ出した内陸地域の生活ごみだ」と指摘し、海に面さない京都府亀岡市での条例制定の紹介を通して「川から海までの様々な主体が対話し、流域が一体となって海ごみの発生抑制に取り組むというパートナーシップの構築が重要だ」と強調されていました。

草津市の川は琵琶湖を經由し、海へとつながっています。私たちも、川から海へのつながりを意識して、プラスチックごみの削減に取り組んでいきましょう。

湖岸のごみ散在を“なくそう” 琵琶湖と共に歩む滋賀

21世紀は環境の時代と言われて久しい中、琵琶湖岸やそれを取り巻く湖岸道路も整備され、休みの日には家族連れや若いグループなど県内外のたくさんの方が、キャンプや魚釣り、ビワイチなどを楽しんでおられます。

しかしながら、ごみの散在も目立っています。より一層の思い出づくりのためにも、自分で出したごみは自分で持ち帰りましょう。

琵琶湖は滋賀県の自然環境にとって重要であり、かつ関西圏の水源としても利用されています。滋賀県の誇りである琵琶湖の環境を壊さず、すべての人にとってよりよい持続可能な生活を守るためにも、ごみは持ち帰り、琵琶湖を美しくしましょう。



事務局

【広報委員】

・松村 幸子・山本 正行・木村 兼久・油布 輝義・音掬 宏勝
 ・清水 節子・富山 康夫・林 和臣・山口 尚孝・山本 清治

E-mail: ecostyle@city.kusatsu.lg.jp

FAX (077) 561-6588

TEL (077) 561-6580

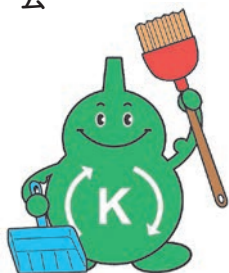
〒525-0043

草津市馬場町1200番地25

草津市役所くさつエコスタイルプラザ内

「ごみ問題を考える草津市民会議」広報委員会

ごみジャーナル第51号についてのご意見、感想をお気軽に左記までお寄せください。



編集後記

新型コロナウイルス感染症の影響がいつまで続くのか、リサイクルフェアが2年連続で中止となってしまいました。

ごみ問題に取り組んでいると「ごみを分別する」とか「食品廃棄を減らす」「レジ袋を断る」など一人一人の行動が、自然環境を守る事や地球温暖化の防止など、グローバルな課題に繋がっていることに気づかされます。このように、日常の行動から世界・地球に想像力を飛ばすことも、本会の活動の醍醐味と言えます。

さて、ごみジャーナルは、今号より年1回の発行となります。速報性に問題はありますが、「伝えたい情報は何か」を常に問い、正しい情報を発信することで、信頼性ある啓発誌として発行することの重要性に変わりはありません。ただ、昨今ではSNSなど新しい情報媒体の伝搬力・影響力には大きなものがあることから、若い世代層に対する啓発手段としても、積極的に活用すべきものです。そのためにも、本会も若い人材のアイデアと参画が求められます。